



SAP Ariba 

機能の概要

見積依頼書 (RFQ) とソーシング申請の可視性が向上

Kevin Cheng, SAP Ariba

一般提供予定: 2020 年 5 月

CONFIDENTIAL

機能の概要

説明: 見積依頼書 (RFQ) とソーシング申請の可視性が向上

今までの課題

Guided Buying (GB) が提供する強力な機能の 1 つは、ユーザーが GB で開始された見積依頼書 (RFQ) プロセスを介してサプライヤに見積りを依頼できる戦術的ソーシングです。この RFQ プロセスは、購買部門の関与がどの程度必要であると考えられていたかに応じて、セルフサービス、ロータッチ、またはハイタッチとして実行されるよう事前設定されます。

ただし、ユーザーが GB から見積りフォームを送信した後、見積依頼のさまざまな状況が表示されることはなく、依頼がどのくらい処理されているのかをユーザーは把握できません。これは、購買部門が関与するロータッチおよびハイタッチのプロセスに特に当てはまります。最終的には、ユーザーがソーシングデスクの担当者に連絡し、現在の状況について問い合わせることになり、その結果、担当者がその他の作業のために使う能力を奪うことになります。

対象ソリューション

- SAP Ariba Buying (Guided Buying 機能あり)
- SAP Ariba Buying and Invoicing (Guided Buying 機能あり)

導入の難易度

対象エリア



ロータッチ/容易



グローバル

SAP Ariba で問題解決

Guided Buying (GB) の見積りフォームの上部にグラフィカルなプロセス図が表示され、RFQ プロセスの進捗と現在の状況が示されます。ユーザーは、再度 RFQ フォームを表示して、状況情報を確認することができます。

次のページに、計画された RFQ プロセスフローを介して見積依頼の進捗をユーザーに通知するための各種状況の一覧を示します。表示される状況は、商品分類および価格帯に基づき、事前設定された GB でのサプライヤおよび Touch 規定(セルフサービス、ロータッチ、またはハイタッチ)によって異なります。

関連情報

この機能は、該当ソリューションを使用しているすべてのお客様に対して自動的にオンになっており、すぐに使用できます

主なメリット

Guided Buying (GB) での見積依頼の表示により、以下の 2 つのメリットがあります。

1. セルフサービス機能が改善し、GB で引き続き、シンプルかつスマートな購入体験が提供され、お客様の効率向上につながります
2. 見積の状況を確認するソーシングデスクの担当者が費やす時間を削減し、能力をほかの付加価値のある作業に使えるよう解放します

前提条件と制限事項

なし

機能の概要

説明: 見積依頼書 (RFQ) とソーシング申請の可視性が向上

機能の詳細情報

ソーシングシナリオ	見積依頼の状況	ソーシングシナリオ	見積依頼の状況
セルフサービス	依頼送信済み 見積りを受け取り 落札 購入申請完了	ハイタッチ	依頼送信済み 見積りを受け取り 落札者決定中 落札を確認 購入申請完了
ロータッチ	依頼送信済み 見積りを受け取り 落札 購入申請完了	ハイタッチソーシング申請	依頼送信済み 見積依頼書作成済み 見積りを受け取り 落札者決定中 落札を確認 購入申請完了